

1919年

- 川崎汽船設立

1941年

- 太平洋戦争開戦時、保有船36隻260,108重量トン

1945年

- 太平洋戦争終結時、保有船12隻31,111重量トン

1948年

- 戦争中沈没したニューヨーク定期船“聖川丸”を引き揚げ、船隊の再建に着手



1951年

- 日本／バンコク定期航路開設、以後急速な主要定期航路の再開、新設が進む

1957年

- 油槽船“富士川丸”を建造、油槽船隊の整備に着手

1960年

- 鉄鉱石船“富久川丸”（初代）を建造、専用船隊の整備に着手

1964年

- 日本海運の集約により飯野汽船を合併、川崎汽船グループの中核会社（資本金90億円）となる

1968年

- 日本／カリフォルニア航路で当社初のコンテナ船“ごうでんげいとぶりっじ”就航



- デンマーク船社マースクインと提携、日本／欧州航路を開設
- 自動車兼ばら積み自動車船“第一とよ丸”を建造、自動車船隊の整備に着手

1969年

- 豪州国営船社ANLと提携、日本／東南豪州航路でコンテナ船サービス開始

1970年

- 日本／北太平洋岸航路でコンテナ船サービス開始
- 日本船社初の自動車専用船（PCC）“第十とよ丸”竣工

1971年

- ロングビーチに現地法人International Transportation Service, inc. を設立し、海外ターミナルの自営に着手

1972年

- 日本・極東／ニューヨーク航路でコンテナ船サービス開始

1974年

- 欧州同盟に単独加盟

1975年

- 日本・極東／欧州のコンテナ化に対応し、共同配船のため外国船社5社とACEグループを結成

1983年

- 当社管理運航船の“尾州丸”が日本籍初のLNG船として就航

1986年

- 日本・極東／カリフォルニア航路で邦船4社の共同配船体制を離脱、単独配船開始、ロングビーチ／シカゴ／ニューヨークを結ぶコンテナ輸送専用列車の運行を開始

1989年

- 欧州航路でのACEグループを再編、外国船2社との共同運航体制に移行し、同時に全船を高速大型船に代替

1994年

- 電力炭輸送に最適な幅広浅喫水船型石炭専用船“CORONA ACE”就航

1995年

- 川崎近海汽船（株）東証へ上場

1996年

- 北米・欧州航路で台湾船社陽明海運との共同配船を開始

1999年

- 自動車船部、ケイラインマリンデータサービス（株）東京受渡センターがISO9002を取得

2000年

- 子会社太洋海運（株）と神戸日本汽船（株）が合併、太洋日本汽船（株）を設立。グループ内船舶管理会社の再編成完了

2001年

- 川崎汽船グループ環境憲章発表
- シンガポールの海運子会社“K” Line Pte Ltdが営業開始
- 当社、陽明海運、COSCON、韓進海運、セネターラインズの5社はアライアンス構築で合意

2002年

- （財）日本海事協会（NK）よりISO14001認証取得
- グループのロジスティクス事業強化を目的に“K” Line Total Logistics, LLC（略称KLTL）を設立
- 国内のコンテナ船集荷関連業務を分社化し“K” Line (Japan) Ltd.を設立

2003年

- “K” Line European Sea Highway Services GmbH 設立・営業開始。欧州近海完成車輸送の完全自営化
- 中国完成車輸送に参画。上海に完成車輸送合併会社・中海川崎汽車船運輸有限公司を設立

2004年

- Yara社向け38,000m³型アンモニア船2隻建造決定。当社初のアンモニア輸送契約



2005年

- タンゲーLNGプロジェクト向け153,200m³型新造LNG船3隻の定期備船契約を締結
- 陽明海運、韓進海運、PSA-HNNとともにアントワープにターミナル運営会社 Antwerp International Terminal NVを設立。2006年1月より営業開始
- 世界最大のオイルメジャーエクソンモービル社とVLCC長期備船契約を締結

2006年

- 川崎航空サービス（株）と（株）ケイロジスティックスが合併しケイライン ロジスティックス（株）が誕生。空海の物流サービス事業の顧客窓口の一本化を図る

2007年

- 重量物船事業で独SALグループと共同事業を展開
- 海事技術者育成施設“K” Line Maritime Academy をインドに開設
- ノルウェー船船投資会社とK Line Offshore ASを設立。オフショア支援船事業へ投資

2008年

- “K” Line Maritime Academy をフィリピンに開設
- インドJSWグループと10隻の超大型輸送契約締結
- 当社初の30万トン型鉄鉱石船（ユニマックス・オア）“GRANDE PROGRESSO”竣工
- 洋上LNG生産プロジェクトを推進するFLEX LNG社へ出資



2009年

- 当社、PSA Corporation、日本郵船の3社共同で自動車船専用ターミナル会社、Asia Automobile Terminal (Singapore) Private Limitedをシンガポールに開設
- 他5社と共同でブラジル・ペトロプラス社向け掘削船事業に参画

2010年

- 公募及び第三者割当による新株発行により、総額383億円の資金調達
- 米国物流会社Air Tiger Express Companies Inc. に資本参加
- K LINE OFFSHORE AS社が保有・運航する、大型プラットフォーム・サプライ船の第1船“KL BREVIKFJORD”が竣工。当社グループとして初建造のオフショア支援船

2011年

- 重量物輸送船社SALグループを完全子会社化